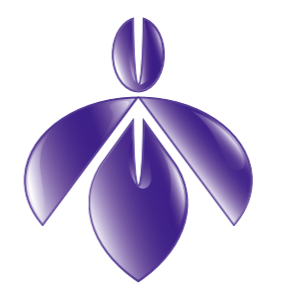




The 21st century WORLD and JAPAN



AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

学術講演会

公開講座

「アフリカでのコップ一杯の水の
価値発見から琵琶湖保全へ」
（学者40年・滋賀県知事8年の経験から伝えたいこと）



嘉田 由紀子氏
びわこ成蹊スポーツ大学学長
前滋賀県知事

環境と
資源から
見る国際
社会

21世紀の世界と日本

講座概要

二〇二一年、世界人口が70億人を超えました。20世紀後半以降、私たちの暮らす惑星は「宇宙船地球号」と呼ばれ、環境と資源が有限であることが強く意識されるようになりました。しかし、その後も人口は増え続け、新興国が世界経済の重要な担い手として登場する一方で、二酸化炭素排出の問題や原子力利用のありかた、食の安全や再生エネルギーの今後をめぐる議論など、環境と資源をめぐる問題は山積しています。人口が百億人に達する日が迫りつつあるなかで、21世紀の私たち人類の暮らしはどうあるべきなのか、国際社会の重要な問題であるとともに、私たちの身近なテーマでもある「環境と資源」について、シリーズで学ぶ公開講座を開きます。

「環境と資源から見る国際社会」

21世紀の世界と日本

公開講座

全4回：13:30～16:40 | 受講料：1,000円(全4回分) |
申込必要 | 募集人数：120名(先着順) | 募集期間：10月16日(金)まで

10月24日(土) | 愛知県立大学 長久手キャンパス S棟201教室
人間と環境の共存の原点を見つめる：アフリカにおけるフィールドワークから

「生態人類学への誘い：人類と環境の700万年史」

講師=亀井 伸孝氏(愛知県立大学外国語学部国際関係学科 准教授)

「野生生物保全の観点から見た資源開発と国際支援」

講師=西原 智昭氏(Wildlife Conservation Society, コンゴ共和国在住)

11月7日(土) | 愛知県立大学 長久手キャンパス K棟(学術文化交流センター)多目的ホール
私たちを取りまく「食」を考える：日本の里山、アジアとの関わり

「現代日本社会において猟師として生きる」

講師=千松 信也氏(猟師)

「アジアにおける食料貿易とく(和食)」

講師=西野 真由氏(愛知県立大学外国語学部中国学科 准教授)

11月28日(土) | 愛知県立大学 長久手キャンパス K棟(学術文化交流センター)多目的ホール
資源利用のこれまでとこれから：民族学の視点、経済学の視点

「極限の地で生きてきた人々：アンデスとヒマラヤのフィールドから学ぶ」

講師=稲村 哲也氏(放送大学教養学部教授、愛知県立大学名誉教授)

「シェール革命と世界情勢の激変」

講師=草野 昭一氏(愛知県立大学外国語学部国際関係学科 教授)

12月12日(土) | 愛知県立大学 長久手キャンパス S棟201教室
資源・エネルギー政策と地域社会：福島とカタールニヤの事例

「3.11原子力災害後の人と野生動物の関係変化：農山村の暮らしから」

講師=西崎 伸子氏(福島大学行政政策学類 准教授)

「カタールニヤの独立派が構想する新国家の資源・エネルギー・環境問題」

講師=奥野 良知氏(愛知県立大学外国語学部ヨーロッパ学系スペイン語専攻 准教授)

学術講演会

2015年10月19日(月) 12:50～14:20

申込必要 | 参加費無料 |
会場：愛知県立大学 長久手キャンパス講堂
募集人数：500名(先着順) | 募集期間：10月12日(月)まで

講演概要

蛇口をひねったら水が出る、お湯まで出る、という便利な生活に慣れ親しんでいる今の日本人の暮らし。しかし、地球規模で見ると、水道などにより安全な飲み水を手に入れない人口は10億人をこえています。また日本でも昭和30年代までは、水道のない暮らしは普通で、井戸水や湧水だけでなく、琵琶湖周辺では、湖水や川水などの自然水を直接に飲用していました。それでもアフリカやアジア地域と大きく異なる文化的仕組みがかけられており、公衆衛生的にみても病気になる、という「近い水」の暮らしが生きていました。その仕組みを紹介しながら、地球規模での水環境問題への解決・改善の道を考えていきたいと思います。

嘉田 由紀子氏プロフィール

1950年埼玉県生まれ、1973年京都大学農学部を卒業、1975年米ウイスコンシン大学修士課程修了、1981年京都大学大学院農学研究科博士課程を修了し、京都大学より農学博士(論文名『琵琶湖の水問題をめぐる生活環境史的研究』)を授与される。滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員、京都精華大学人文学部教授を歴任し、2006年7月2日の滋賀県知事選に当選して全国で5人目の女性知事となる。琵琶湖環境政策、子育て・女性参画、地域雇用・活性化、流域治水・卒原発政策などで新機軸を開き2014年7月、知事を勇退。現在、びわこ成蹊スポーツ大学の学長。著書に『いのちをこたわる政治をしよう!』(2013年、風媒社)、『知事は何ができるのか「日本病」の治療は地域から』(2012年、風媒社)、『生活環境主義でいこう!—琵琶湖に恋した知事』(語り、2008年、岩波ジュニア文庫)、『水をめぐる人と自然—日本と世界の現場から—』(2003年、有斐閣)、『環境社会学』(2002年、岩波書店)、『水辺ぐらしの環境学—琵琶湖と世界の湖から—』(2001年、昭和堂)、『水辺遊びの生態学—琵琶湖地域の三世代の語りから—』(2000年、農山漁村文化協会)、など多数。

申込方法 | ※手話通訳をご希望の方は、事前にご連絡ください。

- ①往復ハガキまたはEメールに「郵便番号、氏名(ふりがな)、電話番号、嘉田由紀子講演会希望 または 公開講座希望」をご記入の上、下部問合せ先住所へお送りください。
- ②または本学地域連携センターウェブサイト(<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei>)にアクセス頂き、特設ページより所定の申込メールフォームに情報をご入力ください。

お問い合わせおよび申込み先

交通アクセス

〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間1522-3
愛知県立大学 研究支援・地域連携課
電話番号：0561-76-8843(直通)
Eメール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp

- リニモ「藤が丘」駅から八草行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
 - リニモ「八草」駅から藤が丘行き「愛・地球博記念公園」駅下車 徒歩約3分
- ※ 駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でご来場ください。

